



大英産業株式会社

2026年9月期 第3四半期 決算説明資料

目次

- 1** 2026年9月期第3四半期 決算ハイライト
- 2** 会社概要
- 3** 2026年9月期第3四半期 業績報告
- 4** トピックス(2026年4月～2026年6月)
- 5** 中期業績目標(2028年9月期)
- 6** 株主還元

■ 売上高は前年同期比で減収、収益性改善により損失幅は縮小

- ▶ 売上高は21,175百万円(前年同期比94.7%)となったものの、
原価管理の徹底及び販管費の抑制により損失幅は縮小。

■ 第4四半期の引渡し集中により、通期黒字化を見込む。

- ▶ 第4四半期に分譲マンション5棟の竣工を予定、売上予定550戸の84%が売上計上または契約済。
営業利益・経常利益・当期純利益は通期での黒字転換を見込む。

■ 成長に向けた先行投資を推進

- ▶ 福岡市エリアの分譲マンション用地に加え、法人・投資家向け不動産商品用地の取得を推進。
将来の売上拡大に向けた戦略投資により、仕掛販売用不動産及び有利子負債が増加。

目次

- 1 2026年9月期第3四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要**
- 3 2026年9月期第3四半期 業績報告
- 4 トピックス(2026年4月～2026年6月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元

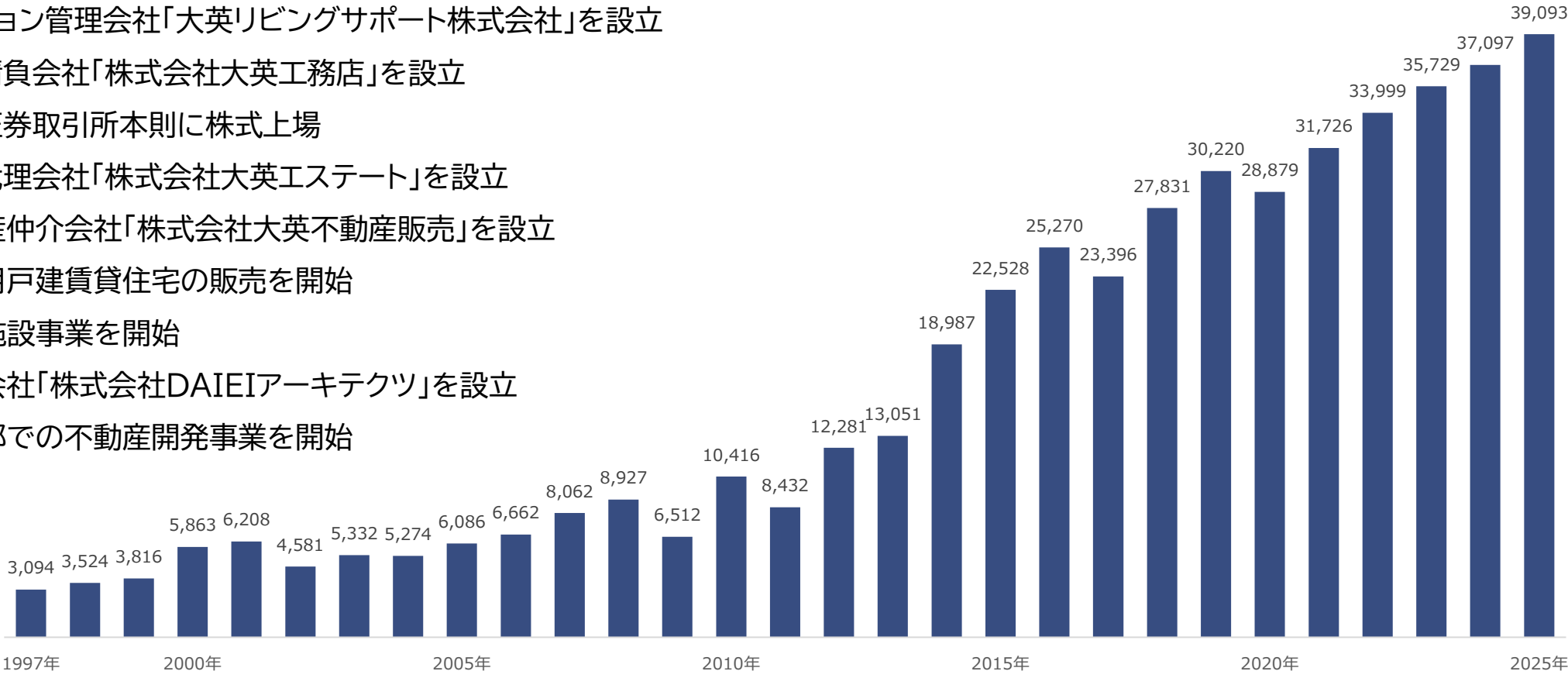
会社概要

商 号	大英産業株式会社
会 社 設 立	1968年11月28日
所 在 地	福岡県北九州市八幡西区下上津役4丁目1番36号
代 表 者	代表取締役社長 一ノ瀬 謙二
資 本 金	3億4,248万円(2026年6月30日)
直 近 売 上 高	390億円(2025年9月期)
従 業 員 数	451名(2026年6月30日)
※就業規程の改定により「アルバイト」を「パート」に呼称統一、従業員数に旧アルバイト人数も含む。	
子 会 社	大英リビングサポート株式会社 株式会社大英工務店 株式会社大英エステート 株式会社大英不動産販売 株式会社DAIEIアーキテクツ

沿革

- 1968年 創業
- 1986年 分譲マンション事業を開始
- 2003年 中古住宅の販売、不動産仲介業を開始
- 2004年 リフォーム事業を開始
- 2009年 分譲住宅(戸建)事業を開始
- 2010年 マンション管理会社「大英リビングサポート株式会社」を設立
- 2017年 工事請負会社「株式会社大英工務店」を設立
- 2019年 福岡証券取引所本則に株式上場
- 2021年 販売代理会社「株式会社大英エステート」を設立
不動産仲介会社「株式会社大英不動産販売」を設立
投資用戸建賃貸住宅の販売を開始
- 2024年 宿泊施設事業を開始
建築会社「株式会社DAIEIアーキテクツ」を設立
- 2026年 東京都での不動産開発事業を開始

売上高推移
(金額:百万円)





経営理念

元気な街、心豊かな暮らし

ミッション

ライフスタイルに合った良質な「すまい」を提供し
持続的に発展する「まち」をつくる

経営方針

地域愛着経営

主力事業



分譲マンション事業

福岡市・北九州市を中心に九州・山口エリアにて「サンパーク」と、コンパクトマンション「サンレリウス」の新築分譲マンションシリーズを展開



分譲住宅(戸建)事業

福岡・佐賀・熊本・山口の各県にて新築一戸建て住宅を展開
新築一戸建てのオプション工事や既存住宅のリフォームまで
トータルで提案するすまいサポート事業も展開



不動産流通(中古住宅の買取再販)事業

北九州市を中心とした福岡・熊本の各県にて
中古住宅を買い取り、リフォームを行い
付加価値を高めて再販する事業を展開



街づくり事業

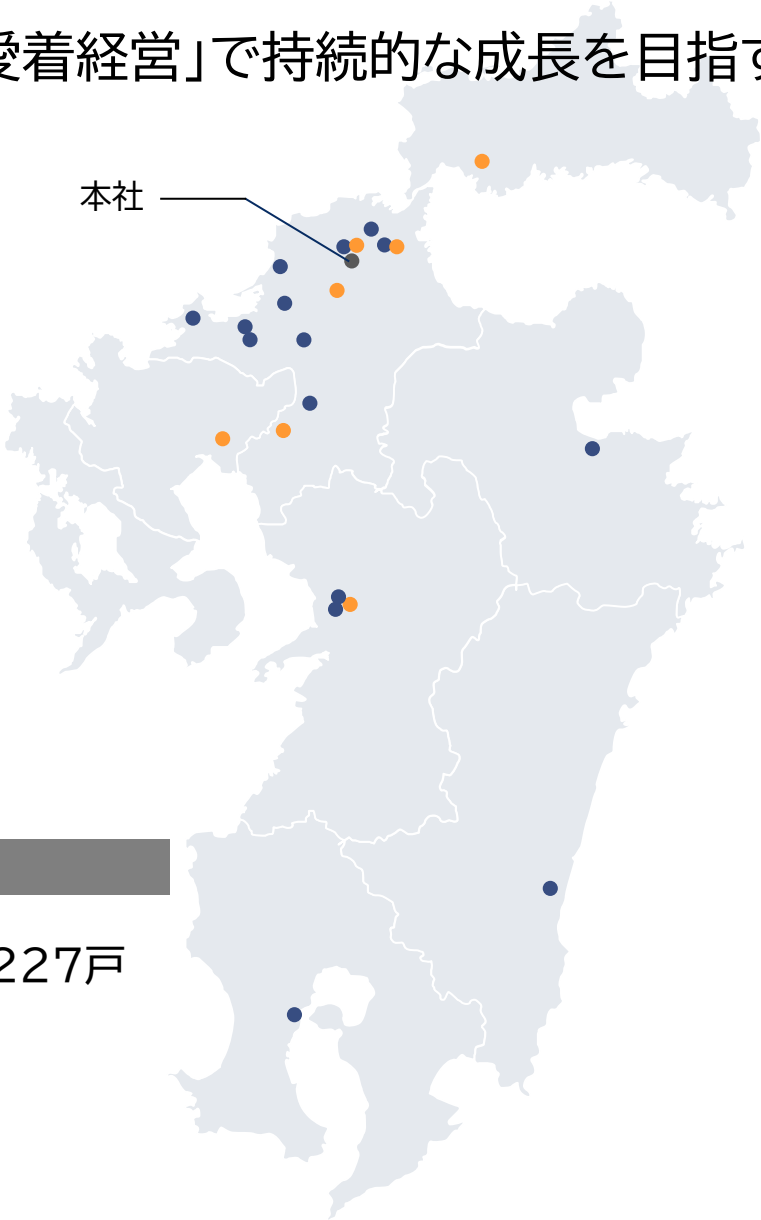
投資用の戸建賃貸住宅や賃貸アパートおよび宿泊施設の
開発・販売や、事業用不動産の販売など幅広い顧客層に
向けた不動産商品を展開

事業展開エリア

九州・山口エリアにて「住宅・不動産」を中心とした事業を展開
 「地域愛着経営」で持続的な成長を目指す

住宅事業店舗

- イオンタウン黒崎店
- 小倉南店
- 飯塚店
- 久留米店
- 宇部店
- 佐賀店
- 熊本店



マンションギャラリー

- サンパークマンション小倉ギャラリー
- サンパークマンション八幡ギャラリー
- サンパークマンション福岡ギャラリー
- サンパークマンション福岡西ギャラリー
- サンパークマンション久留米ギャラリー
- サンパークマンション筑紫野ギャラリー
- サンパークマンション新宮ギャラリー
- サンパークマンション糸島ギャラリー
- サンパークマンション熊本ギャラリー
- サンパーク天保山グラッセマンションギャラリー

供給実績(2025年9月末)

分譲マンション 総供給数 11,227戸
 分譲住宅 総供給数 5,624戸

大英リビングサポート株式会社 事業所

本社(北九州市八幡西区)、北九州市小倉北区、福岡市、
 熊本県、大分県、宮崎県

目次

- 1 2026年9月期第3四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第3四半期 業績報告**
- 4 トピックス(2026年4月～2026年6月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元

2026年9月期第3四半期 連結損益計算書

	2025年9月期第3四半期		2026年9月期第3四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	22,369	100.0%	21,175	100.0%	94.7%
売上総利益	3,906	17.5%	3,778	17.8%	96.7%
販売費及び一般管理費	4,018	18.0%	3,858	18.2%	96.0%
営業損失(△)	△111	-	△80	-	-
経常損失(△)	△442	-	△417	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△320	-	△377	-	-

※金額:百万円以下切り捨て %:小数点第2位四捨五入

売上高は、マンション管理や宿泊施設等のストック型事業が堅調に推移したものの、不動産流通事業、街づくり事業等における商品構成の変化等により前年同期を下回った。売上総利益率は前年同期を上回ったものの、売上高の減少に伴い売上総利益額は減少。販売費及び一般管理費の抑制により、営業損失及び経常損失は前年同期から縮小した。

	2025年9月期実績 (百万円)	2026年9月期予想 (百万円)	前期比
売上高	39,093	37,641	96.3%
営業利益	1,305	1,279	98.0%
経常利益	901	754	83.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	639	466	72.9%

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
竣工予定棟数	1棟	2棟	3棟	5棟

第4四半期に集中する分譲マンションの引渡しにより、営業利益・経常利益・当期純利益ともに黒字転換の見込み。2025年11月13日に公表した2026年9月期連結業績予想からの修正は無し。

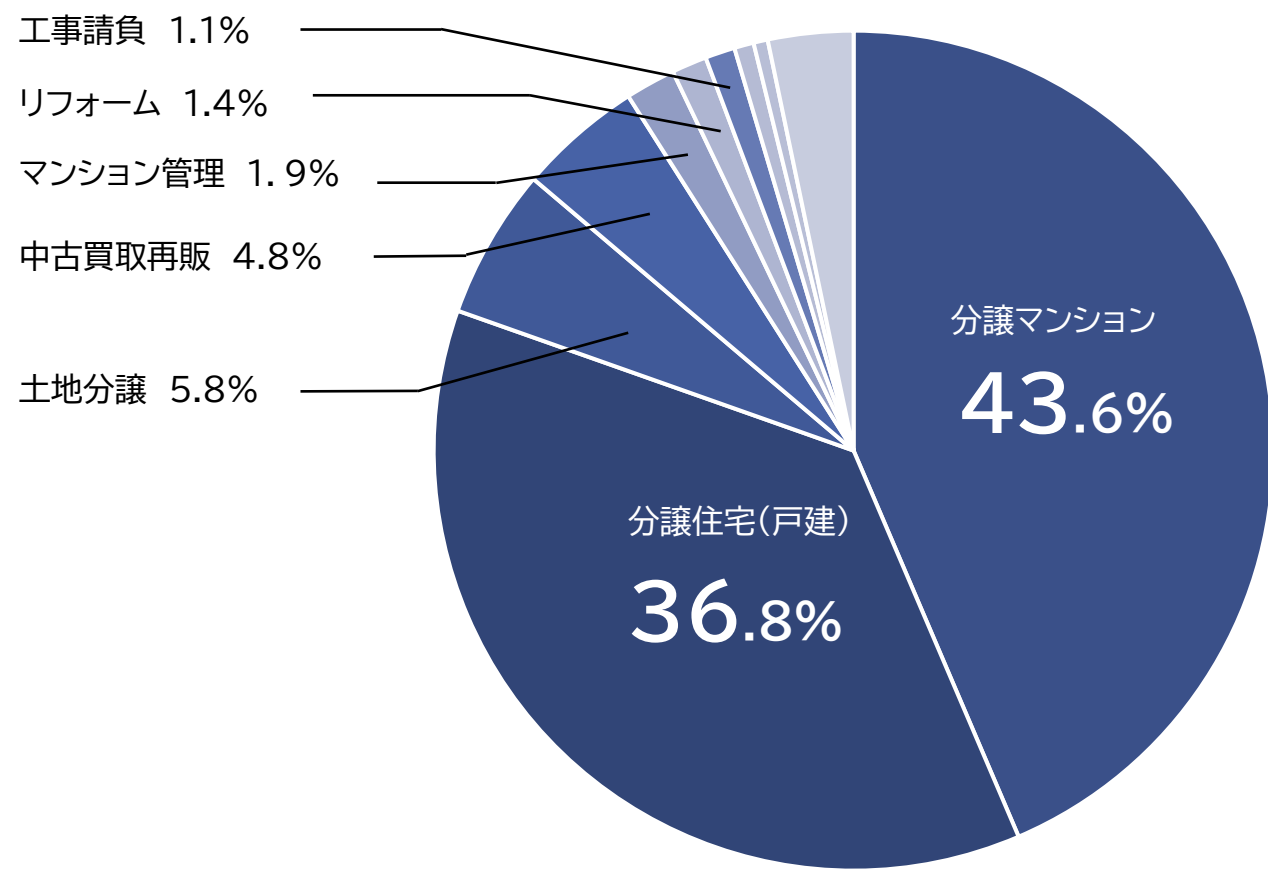
2026年9月期第3四半期 事業別売上高

※金額:百万円以下切り捨て %:小数点第2位四捨五入

(金額:百万円)		2025年9月期 第3四半期	2026年9月期 第3四半期	増減額	前年同期比
マンション事業	計	9,827	9,697	△130	98.7%
	分譲マンション事業	9,488	9,282	△206	97.8%
	マンション管理事業	339	423	81	124.1%
住宅事業	計	12,466	11,354	△1,111	91.1%
	分譲住宅(戸建)事業	8,701	8,516	△185	97.9%
	不動産流通事業	1,782	1,194	△588	67.0%
	街づくり事業	1,454	911	△543	62.6%
	すまいサポート事業	326	388	61	119.0%
	宿泊施設事業	104	116	12	111.7%
	その他(仲介手数料等)	95	227	131	237.8%
その他(温泉管理・賃貸管理)		75	123	47	162.7%
合計		22,369	21,175	△1,194	94.7%

マンション事業は、分譲マンション事業の減収をマンション管理事業が一部補ったものの、売上高9,697百万円(前年同期比△1.3%)となった。住宅事業は、不動産流通事業や街づくり事業の引渡し戸数減少や商品構成変化により、売上高11,354百万円(同△8.9%)となった。

商品別 売上高構成比率



商品別 売上高(百万円)

分譲マンション	9,224
分譲住宅(戸建)	7,798
土地分譲	1,226
中古買取再販	1,014
マンション管理	408
リフォーム	287
工事請負	243
投資用戸建賃貸住宅	159
宿泊施設	116
事業用不動産	115
その他	580
合計	21,175

商品別では、分譲マンション9,224百万円(構成比43.6%)、分譲住宅が7,798百万円(構成比36.8%)と、主力の2商品で売上高の約80%を占めた。また、マンション管理、工事請負、宿泊施設の売上高が伸長。

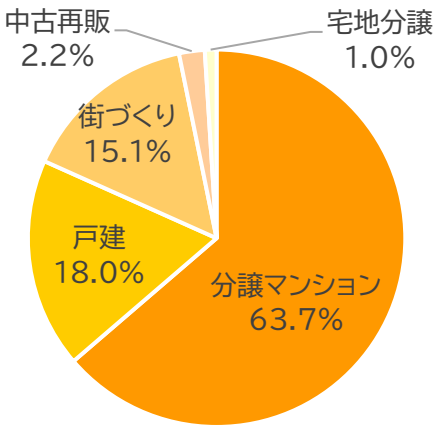
2026年9月期第3四半期 貸借対照表

※「その他」は主要項目以外の勘定科目を集約して表示

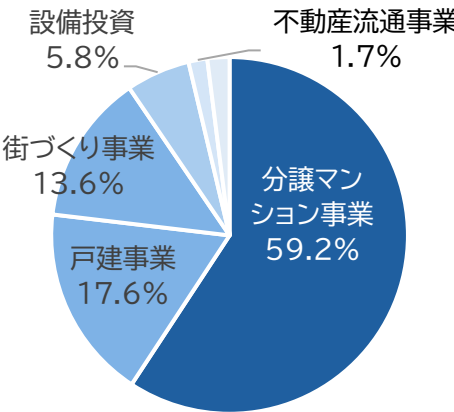
(金額:百万円)	2025年 9月30日	2026年 6月30日	増減額
流動資産 合計	43,046	46,123	3,077
現金・預金	9,933	7,008	△2,924
販売用不動産	8,691	9,536	844
仕掛販売用不動産	22,999	28,677	5,678
その他	1,421	900	△520
固定資産 合計	4,218	4,432	214
有形固定資産	3,779	3,827	47
無形固定資産	24	15	△8
投資その他の資産	413	589	175
資産 合計	47,264	50,556	3,291

	2025年 9月30日	2026年 6月30日	増減額
流動負債 合計	28,540	27,137	△1,403
支払手形・買掛金	3,832	2,292	△1,539
短期借入金	13,366	15,818	2,452
1年以内返済借入金	7,356	6,475	△881
その他	3,985	2,550	△1,434
固定負債 合計	9,900	15,037	5,136
長期借入金	9,373	14,495	5,122
その他	527	541	14
純資産	8,822	8,381	△441
負債純資産合計	47,264	50,556	3,291

仕掛・販売用不動産内訳(商品別)
合計 38,615百万円



有利子負債内訳(事業別)
合計 36,742百万円

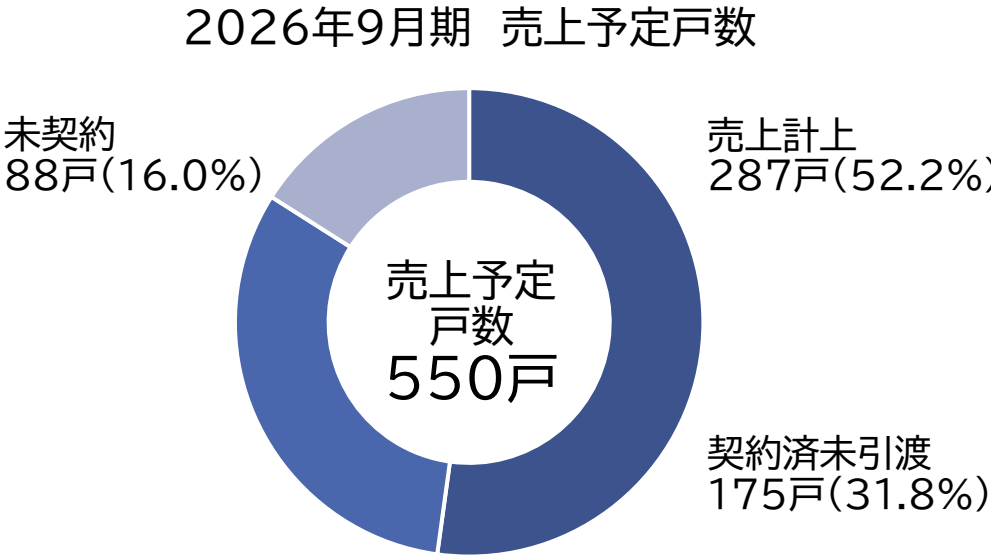


仕掛販売用不動産は、分譲マンション及び投資用住宅商品の戦略的な仕入れにより増加。
長期借入金は、分譲マンション及び街づくり事業の用地取得に伴い増加し、純資産は純損失の計上等により減少。

分譲マンション事業 業績

	2025年9月期 第3四半期		2026年9月期 第3四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	9,488	100.0%	9,282	100.0%	97.8%
売上総利益	1,644	17.3%	1,609	17.3%	97.9%
営業利益	472	5.0%	559	6.0%	118.4%

※本部等(非生産部門)の経費を含まない



引渡戸数は増加も、販売単価低下により減収

当第3四半期に3棟が竣工。引渡戸数は287戸と前年同期(204戸)より増加。販売単価が相対的に低いコンパクトマンションや完成在庫の販売施策により、売上高は9,282百万円(前年同期比△2.2%)となった。営業利益は559百万円(前年同期比+18.4%)となった。なお、販売機能の一部を子会社である株式会社大英エステートへ移管した影響により、販売費及び一般管理費は前年同期比で減少。

分譲マンション事業



2025年 おかげさまで
九州7県(沖縄除く)
新規販売・供給ランキング No.1
※住宅流通新聞社調べ



2025年 おかげさまで
福岡県
新規販売・供給ランキング No.1
※住宅流通新聞社調べ

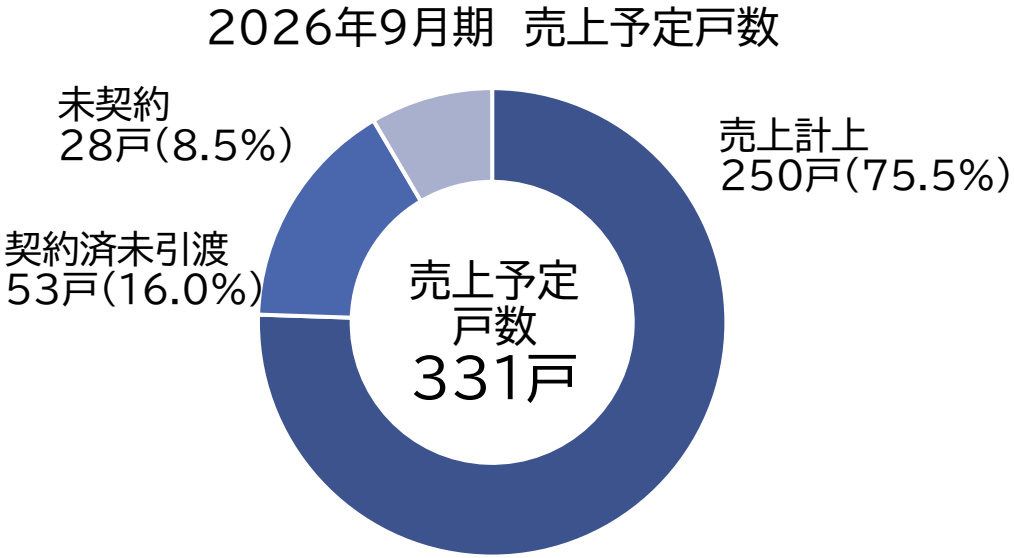
当期販売物件一覧(2026年6月末時点)

事業エリア	物件名	総戸数	竣工
福岡県	ザ・サンパーク春日原駅レジデンス	36	竣工済 【完売】
	サンパーク都府楼前駅グラッセ	45	竣工済 【完売】
	サンレリウス小倉片野ネクスト	56	竣工済
	サンレリウス三萩野	56	竣工済
	サンレリウス戸畑駅	56	竣工済
	サンパーク二日市駅グラッセ	52	竣工済
	サンパーク糸島グラッセ	39	2026年9月期
	サンパーク新宮EXIA West- I II,East	96	2026年9月期
	ザ・サンパーク西新	24	2027年9月期
	サンパーク春日原駅グラッセ	33	2027年9月期
	サンパーク春日原駅EXIA	52	2027年9月期
	サンパーク諏訪野レジデンス	55	2027年9月期
	サンパーク西新南レジデンス	38	2027年9月期
	ザ・サンパーク守恒	53	2027年9月期
	サンパーク福津中央レジデンス	48	2028年9月期 【分譲開始】
佐賀県	サンパーク鳥栖本町レジデンス	42	2028年9月期 【分譲開始】
大分県	サンパーク下郡グラッセ	55	竣工済
熊本県	サンパーク新大江グラッセ	52	竣工済
	サンパーク大江東グラッセ	52	竣工済
	サンパーク桜町レジデンス	50	2026年9月期
鹿児島県	サンパーク天保山グラッセ	36	竣工済
山口県	サンパーク防府駅EXIA	66	竣工済 【完売】

分譲住宅(戸建)事業 業績

	2025年9月期 第3四半期		2026年9月期 第3四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	8,701	100.0%	8,516	100.0%	97.9%
売上総利益	1,446	16.6%	1,444	17.0%	99.9%
営業利益	653	7.5%	720	8.5%	110.3%

※本部等(非生産部門)の経費を含まない

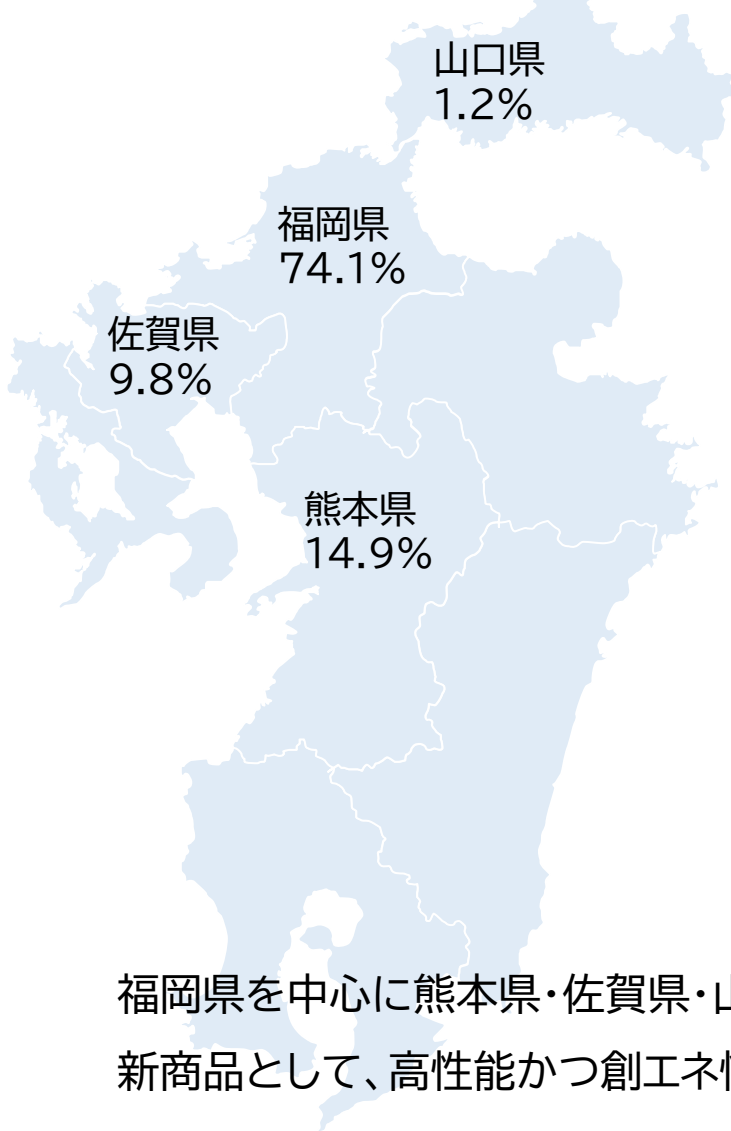


引渡戸数は減少したものの、収益性が改善

引渡戸数が250戸と前年同期(266戸)を下回り、売上高は8,516百万円(前年同期比△2.1%)となった。利益面では、当期完成物件の原価管理の徹底により、売上総利益率が前年同期から上昇。また、販売費及び一般管理費の抑制により営業利益は720百万円(前年同期比+10.3%)となった。

分譲住宅(戸建)事業

事業エリア別 売上高構成比
(2026年9月期第3四半期)



商品ラインナップ



3つのデザインを軸に、外観・内装・外構までトータルコーディネートした家。



価格も暮らしやすさも叶えてくれる、こだわりをつめこんだ選ばれ続ける家。



ロジックとデザインを融合した、美的価値と快適な暮らしを提供する家。



遊びごころにこだわった、家族みんなが居心地の良い場所を見つえられる家。



心地いい「ゆったりとした暮らし」を叶えてくれる、光あふれる平屋の家。



福岡県を中心に熊本県・佐賀県・山口県にて、顧客ニーズに合わせた5つの商品ラインナップを展開
新商品として、高性能かつ創エネ性能を有する「エシカルスマートハウス」の建築・販売を推進

不動産流通事業 業績

	2025年9月期 第3四半期		2026年9月期 第3四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	1,782	100.0%	1,194	100.0%	67.0%
売上総利益	206	11.6%	175	14.7%	85.0%
営業利益	9	0.5%	48	8.5%	509.3%

※本部等(非生産部門)の経費を含まない

中古住宅にリフォームを施し付加価値を高めて再販



減収も収益性が大幅改善

引渡戸数が57戸(前年同期94戸)と減少し、売上高は1,194百万円(前年同期比△33.0%)となった。利益面では、物件特性や相場に合わせたリフォーム及び価格設定により、売上総利益率は前年同期より上昇。完成在庫の販売促進により販売費及び一般管理費は増加したものの、運営体制の変更により営業利益は前年同期より大幅改善。

街づくり事業 業績

	2025年9月期 第3四半期		2026年9月期 第3四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	1,454	100.0%	911	100.0%	62.6%
売上総利益	350	24.1%	158	17.3%	45.1%
営業利益 または営業損失	73	5.1%	△108	-	-

※本部等(非生産部門)の経費を含まない

街づくり事業の商品ラインナップ

事業用不動産・土地



法人向けの不動産及び大型の土地分譲を展開

投資用の戸建賃貸住宅



安定した入居需要と高い収益性を備えた投資用商品

賃貸アパート等の工事請負



用地提供から特定建築物の建築までをトータル提案

賃貸住宅の運営



運営安定収益の拡大を目指し、賃貸住宅を保有

商品構成の変化により、一時的に営業損失を計上

前年同期に比べ、事業用不動産5件(前年同期5件)、投資用戸建賃貸住宅6戸(同16戸)、アパート請負7棟(前年同期はなし)と商品構成が変化。商品構成の変化及び成長投資に伴う人員増強により、一時的に営業損失を計上。引き続き、多様な商品展開を進め通期での黒字化を見込んでいる。

目次

- 1 2026年9月期第3四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第3四半期 業績報告
- 4 トピックス(2026年4月～2026年6月)**
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元

TOPICS 1 東京都での不動産開発事業を開始



つくる地所株式会社との業務提携に基づく第一号案件として、東京都新宿区の不動産開発用地を取得。東京圏への事業エリア拡大に加え、AIを活用した不動産分析ノウハウを取り入れ、事業基盤の強化を図る。

TOPICS 2 折尾駅(福岡県北九州市)周辺再開発プロジェクトが始動



北九州市が推進する「オリオXcite」エリアにおいて、「サンパーク折尾駅タワーレジデンス」の起工式を実施。官民連携によるまちづくりへの参画を通じ、地域価値向上と持続的な成長を目指す。



安心と暮らしやすさを叶える、

性能向上型リノベーション

外も中も、
まるで新築
大英リノベ

耐震

断熱

収納

動線設計

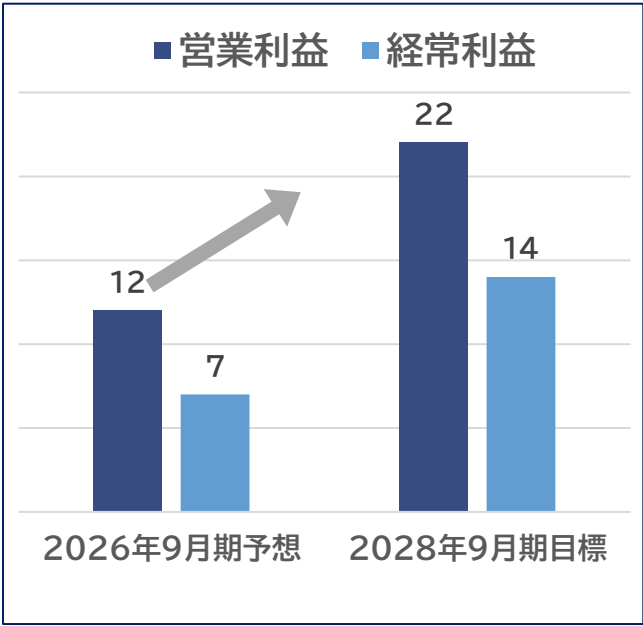
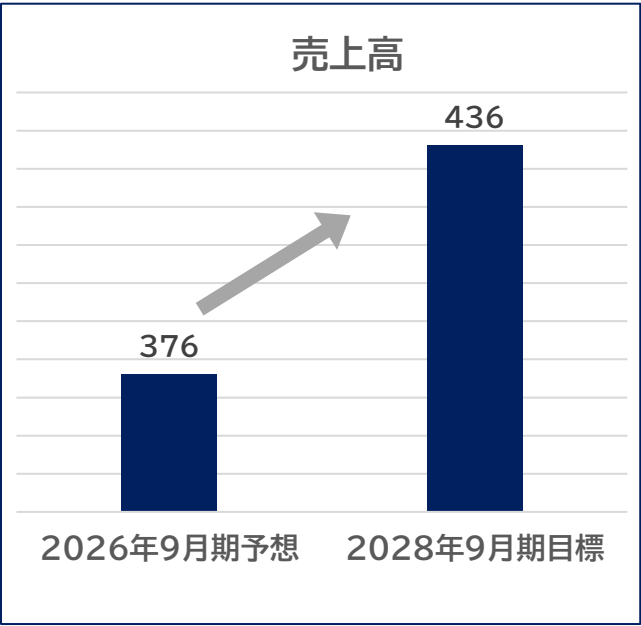
中古住宅や賃貸住宅のリノベーションを通じて、不動産の付加価値向上と収益機会の拡大を推進。
多様化する住まいのニーズや幅広い顧客層への対応を行う。

目次

- 1 2026年9月期第3四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第3四半期 業績報告
- 4 トピックス(2026年4月～2026年6月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)**
- 6 株主還元

2028年9月期(第60期)を最終年度とする中期業績目標

	2028年9月期目標
売上高(億円)	436
営業利益(億円)	22
経常利益(億円)	14
自己資本比率	20.3%



「既存の事業モデルの見直し」「法人・富裕層向け事業の拡大による事業ポートフォリオの変革」
「DX推進等による生産性の向上」に取り組み、利益率の向上と安定した財務基盤の構築を図る
ことで持続的な成長を目指す。

持続的な成長

利益率の向上 × 安定した財務基盤

既存の事業モデルの見直し

新たな顧客、市場のニーズに応じた
収益性の高い収益モデルへの変化

法人・富裕層向け事業拡大による
事業ポートフォリオの変革

法人・富裕層・インバウンドを中心と
した顧客開拓、ストック事業の成長

DX推進等による
生産性の向上

組織基盤(人財力・組織力・DX)の
強化による生産性の向上

目次

- 1 2026年9月期第3四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第3四半期 業績報告
- 4 トピックス(2026年4月～2026年6月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元**

株式の状況

取 引 所	福岡証券取引所本則(2019年6月4日上場)
証 券 コ ー ド	福証本則:2974
発 行 株 式 数	3,329,400株(6月30日時点)
株 価	920円(7月31日時点)
単 元 株 数	100株
P E R (株 価 収 益 率)	4.77倍 ※(1)
P B R (株 価 純 資 産 倍 率)	0.35倍 ※(2)
1 株 当 た り 配 当 金	24.0円
配 当 利 回 り	2.61% ※(3)

※(1)PERは2025年9月期決算数値における、1株当たり当期純利益192.84円に基づき上記株価で計算
※(2)PBRは2025年9月期決算数値における、1株当たり純資産額2660.18円に基づき上記株価で計算
※(3)配当利回りは、2025年9月期配当予定24円、7月31日の株価にて算出

株主様への利益還元について

配当予想及び株主優待につきましては変更ございません。

■ 配当金

2026年9月期(予想)	1株当たり 24円(予想) 中間配当(3月末日)12円、期末配当(9月末日)12円(予想)
2025年9月期	1株当たり 24円 中間配当(3月末日)12円、期末配当(9月末日)12円
2024年9月期	1株当たり 23円 中間配当(3月末日)11円、期末配当(9月末日)12円

■ 株主優待

2026年9月期(予想)	100株～400株 1,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 2,000円分	500株～ 2,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 3,000円分
2025年9月期	100株～400株 1,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 2,000円分	500株～ 2,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 3,000円分
2024年9月期	100株～400株 1,000円分クオカード	500株～ 2,000円分クオカード

本資料について

本資料は、当社が現在入手している情報等に基づいており、
実現をお約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は経営環境の変化等により異なる可能性があります。

本資料に関するお問合せ先

大英産業株式会社 経営企画室

TEL: 093-613-5659

<https://www.daieisangyo.co.jp/ir/form>

